

\*\*\*ラジオmjcインタビュー紹介\*\*\*

このインタビューは、もりおか女性センターのインターネットラジオ「ラジオ mjc」で紹介しているものです。

今回は、元日本助産師会岩手県支部長で、2014年に保健衛生功労で旭日双光章を受章された佐藤ムツさんのお話を4回に分けてご紹介します。

\*ラジオ mjc で放送している内容を、抜粋してまとめたものです。

【第2回/全4回】

助産師になり、盛岡市役所で働き出すまでのお話を伺いました。

岩手医大の生徒たちが先生のところさ勉強しにきて、その時に「お前も勉強しろ」って言われて、私「はい」って言って、そのころドイツ語だったから、ドイツ語は私らも学生の時ななばか習った。

そうしているうちに「助産婦の資格取るには今なんだぞ、勉強しろ」って言われて、ところが段々に忙しくなって、こったな時に勉強しろってできねえと思ったけど。医師会でそのうちに夜学の勉強するとこ作ってくれて、そこさ、夜に通ったけどとって...

そのときに、遠山先生が「どこでもいいから力だめしに行って受けてこ(=こい)」って言われたのさ。そうしてうちに合格したわけだ。「先生、合格したけど就職するところありません」って言ったっきゃ「はあ」って言って。隣の船山先生さ喋ってくれて。「なんか雇うって言うてみたいだから行ってみろ」って言われて、そこで、今度は本当の助産婦として勉強した。

しばらく勉強して、そのうちに話があって結婚したわけだ。

そうしているうちに、盛岡市の国保事業が始まるために、うちの近所の親戚の人が、「頼まれてきたんだけど、おめえなんだか資格あるっていいようだから」と言って名刺っこみたいの渡されて、この人訪ねて行ってこって言われた。その当時の課長さんのとこさ行って、口頭試問みたいなことさせられて、「じゃ明日からでもいいから来い」って言われたのさ。

あら大変、船山先生にみんなしゃべって了解してもらわなきゃ、私盛岡にいらねえなってふと思ったわけだ。辞令持ってたって何から喋っていいかわからないからあの、あのってあのばかり喋ったっちゃ。奥さんが「何したの、どうしたの」って私さ言うから、「あのあの、あの、すいません、今これもらってきたんですけど」って見せたわけだ。したっけ「おおっ」で先生もびっくりして、「ああ、よかったよかった」って先生も。奥さんが「とにかくいずれ第二の家はここなんだからね」って言われて、了解してもらって行ったのさ。

本当にね、仕事は丁寧だし、曲がったこと嫌いな先生だし。マジメな先生だったから。私辞めさせてもらうときに、そういうふうになってもらって、気持ちよく辞めさせてもらって。何かがあれば「今日は、なにそれ作ってるから帰り寄りなさい」って奥さんから電話あって本当に第二の家だって言われるありがたさ、身に沁みるっけね。

\*第2回は、以上です。是非、本インタビューを女性センターHP「ラジオ mjc」でお聞きください。佐藤ムツさんが盛岡弁で様々な楽しいエピソードを交えてお話しています。続きは、次号でご紹介します。



佐藤 ムツさん

もりおか女性センター

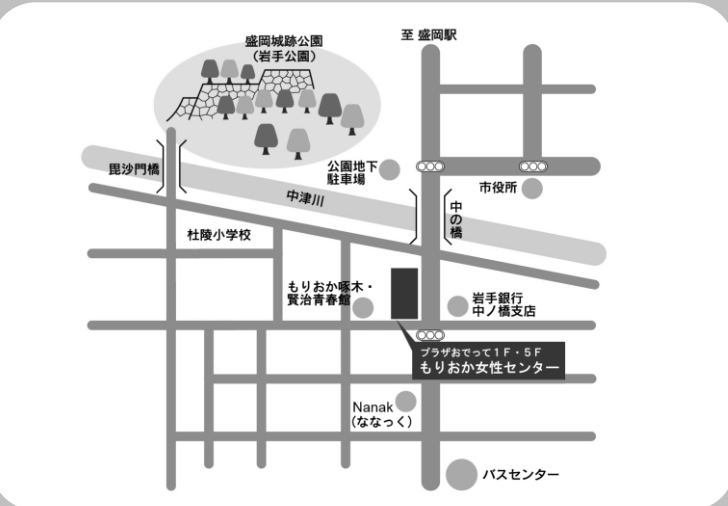
管理・運営:特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

もりおか女性センターは、<sup>ひとひと</sup>女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階  
 電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750  
 開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝 17:00まで)  
 休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 起業応援ルーム 芽でるネット

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって1階  
 電話番号 (019) 624-3583 FAX 050-2003-5778  
 開館時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00  
 休館日 土日祝日、毎月第2火曜日、年末年始



(バス)  
 盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車  
 本館まで徒歩3分  
 ※女性センターには、専用の駐車場はありません。  
 おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

● 女性相談

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。



ひとひと  
 一女と男、ともに参画する社会をめざして

もりおか女性センター

ニュースレター

2017年3月 No.65

内容

- ◆ 平成28年度 開催事業の報告
- ◆ ラジオ mjc インタビュー紹介「佐藤 ムツさん」
- ◆ 図書コーナー情報 (挟み込み)



平成28年度事業テーマ  
 『チャレンジしよう！さらにひろがる私のちから』

6-7月

## 男女共同参画基礎講座「もりおか女性塾」

第1回目の、男女共同参画や女性問題について歴史をふり取りながら考える講義は、受講生にとって、新鮮で興味深く、2回目以降もどんどん興味をもって受講している様子が窺われました。学習を通して女性を取り巻くさまざまな問題に気づき考える時間となりました。

各回グループワークを取り入れたことが、とても有意義だったという声もいただきました。回を重ねるごとに受講生のみなさんの意識が高まり、最後まで一人も欠けることなく終了し、また学びたいという感想もいただきました。



7月

## わたしから、ぼくから、働くお母さんに贈るランチ&リラックスタイム

子どもの生活的自立を促すため、子ども向けの食事づくりワークショップと働くお母さんのためのリラックス講座を母子同時進行で開催しました。子どもたちが真剣に調理や後片付けに取り組み、作ったランチをお母さんと一緒に食べる嬉しそうなお母さんの印象的でした。

また、お母さんたちは疲れを癒やすためにストレッチ体操に挑戦し、痛(いた)気持ち良い時間を過ごされたようです。講座後には、お子さんが作った料理の品々を見て感激され、お母さんもお子さんも、満足された様子が窺えました。



9月

## 災害が起きた時、私ができること -女性防災リーダー養成講座

全4回の講座では、防災の基礎から始まり、応用・実践的な講義やワークショップで学びを深めました。

防災や避難所運営の場において、男性任せではなく女性もリーダーとして積極的に参画することが大切であること、そして地域には性別に関わりなく多様な人たちがいて、それぞれに配慮が必要であること等、グループで話し合いました。

平時にできないことは災害時にもうまくできないということを知り、受講生の皆さんの防災に対する意識の高まりを感じました。



10-12月

## みんなのおしゃべりルーム 「夫婦ってなんだろう…!? うまくいっている??ワタシとカレ」

30~50歳代の女性が5名参加されました。幼いお子さんを託児室に預けて参加された方も、パートナーとの関係に途方に詰っている方も、一人ひとり自分に立ち戻り自分自身を見つけた時間でした。

自分の気持ちを表現するには、他者の評価に頼るより、自分の感情を肯定し理解することが大切です。ありのままの自分を受け入れ、お互いを尊重しつつ率直に伝えるアサーティブコミュニケーションを体験する中で、社会のあり方と自身が抱えるもやもやが繋がっていることにも気付くことができ、参加者同士共有することができました。

## 平成28年度 開催事業の報告

もりおか女性センターでは、『チャレンジしよう!さらにひろがる私のちから』をテーマに様々な事業を行いました。

11月

## 働く女性のこころとからだ講座 「オープンマインドに -こころとからだ-」

講師が女性のからだについて丁寧に話をしながら、ゆっくり体をほぐすことで、参加された皆さんが心身ともにリラックスできた様子が伝わってきました。

申し込み動機の中に、「疲れてイライラ…」「こころが折れている…」という声もありましたが、講座終了後には、皆さん笑顔で元気になり、満足の感想をいただきました。参加者は、自分のこころとからだに向き合う良い時間となりました。



11-12月

## もりおか男性塾 介護編

講座では、自分が介護をすることになった時に参考になる基本的な事柄を学びました。

自分の身体に負担をかけず手際よく介助する方法、一人でかかえ込まずに近隣や地域の支援を受け協力者を得ることなど、心身ともに無理をしない介護を教えてくださいました。

最終回には、介護体験の男性3人のお話を聞き、参加者同士の意見交換も行われ、介護に限らず何事も女性任せではなく、また他人任せとも思わずに男性ももっと学びを広げた方がよいといった気づきもありました。

## 終活セミナー

12月

## 「これからの人生をより良く生きていくために」

講座の受付が始まってその日のうちに定員に達してしまうほど多くの方が、終活を身近に感じていることを実感した講座でした。講座に参加された皆さんからは、講師の盛りだくさんのお話に一生懸命耳を傾け、頷き、学習意欲が引き出されていく様子が伝わってきました。また、伝えたい人に綴る「別れの言葉」のワークでは、発表者の想いに感動しました。

今回、定員を超える申し込みがあり、受講できなかった方が多かったため、3/16にPartⅡとして講演会「これからの人生を輝いて生きるために」を実施することになりました。



2月

## シングルマザーのための就職応援講座 「一歩踏み出してみよう!」

全4回にわたって開催した就職応援講座でした。第1回では経済的自立についての話やハローワーク盛岡の就職支援について伺いました。第2回ではビジネスマナーの基本や姿勢を学び、三人一組となって話し手・聞き手・観察者のグループワークも行いました。第3回ではストレス解消のための簡単ストレッチ体操で体をほぐし、またパソコンミニセミナーでは自分の名刺を作って参加者同士で名刺交換もしてみました。

最後の交流会では「講座に参加してよかった」との感想を皆さんからいただき、それぞれの一歩を踏み出せたようでした。

## もりおか女性センター防災出前講座 ~命とくらしを守る避難所運営ガイドライン~

6月~2月

昨年に引き続き、地域に出向き防災出前講座を行いました。今年度は、10人程度の少人数グループから100人以上の大きな団体まで合わせて8回実施させていただきました。

東日本大震災から5年が経ち危機感が薄れつつあるところに台風10号による甚大な被害が発生。また防災への関心が高まっていることを参加者から感じました。

避難所運営には、平常時から男性と女性が共に参画することの大切さを皆さんと一緒に考えることができました。

## 市民団体支援事業

男女共同参画を推進することを目的に、市民団体と連携・協働を図りながら事業を展開します。団体から企画を募集し2団体が事業を実施しました。

### ①「ドキュメンタリー映画

『不思議なクニの憲法』から考える、声をあげるわたし

実施団体：エンパワーメント11(いわて)

日常生活においてあまり話題にしない憲法。自分たちに深く関わっている憲法について映像を通し、学び、知り、考える機会となりました。参加者から、「大変勉強になった」「難しい内容なのでもう一度見たい」「知ることが大事」等たくさん感想をいただきました。

### ②「誰もがいきいきと出来るための訪問看護」

実施団体：もりおか女性の会

盛岡市の保健福祉部の方より制度についてのお話と、実際に訪問看護をしている看護師さんのお話を伺いました。「看護」と「介護」制度の違いや利用の仕方等について参加者の皆さんと学びました。高齢化社会が進み、改めて関心が高いテーマだと実感しました。



## 起業応援ルーム 芽でるネット事業

### ●女性起業芽でる塾

### ●IT活用講座、パソコンミニセミナー

### ●ネットショップ開店準備講座、お店の魅力を画像を使って発信

今年度の女性起業芽でる塾は、親子カフェを経営されている桜田七海さんにお話していただいた「入門編」から賑やかにスタートしました。「実践編」、「フォローアップ編」では更に具体的な起業のノウハウを学びました。受講生の中から女性センターフェスティバルでプレゼンテーションや体験販売をされた方、すでに起業された方もいらっしゃいます。



またTwitterやInstagramなどSNSを活用して情報発信する方法を学ぶ講座を初めて開催しました。



パソコンミニセミナーでは、ワードやエクセルの入門講座やチラシや年賀状作成、ホームページ作成体験などを行いました。IT活用講座ではパソコンの資格取得を目指す講座を夜間に開催し、受講生の皆さんが真剣に学んでいらっしゃいました。

次年度も女性が一歩踏み出すきっかけになれるような講座を実施したいと思います。